

学校教育目標	自主自立・食育健康・合意形成 ○ 学びを生かす中で、自分で考え判断し、適切な表現や行動がとれる力を育みます 【知・徳】 ○ 食育の大切さを理解し、自他の生命・心身の健康を大切に伸ばしていく力を育みます 【体】 ○ 互いの違いを認め合う中で、共に合意形成できた経験を積み重ね、課題解決できる力を育みます 【公・開】				
	創立 75 周年 児童生徒数: 321 人	学校長 遠山 満 主な関係校: 平沼小学校・浅間台小学校(他に県立横浜平沼高校とも関係あり)	副校長 桑山 博	2 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 2

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	岡野中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<input type="checkbox"/> 問題解決能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 社会参画力	岡野中学校 平沼小学校 浅間台小学校	自己肯定感を持ち、自ら学び、社会とつながり、ともに未来を創ろうとする人 ☆確かな思考力と判断力を持たせるために必要な学力を授業で身に付けます ☆自分の考えを述べ、話し相手を納得させられる説明ができる力を身に付けさせます ☆合意形成を図るうえで、折り合いが付けられた経験を多く積ませます ☆自分の心身の発育を意識して取り組める教育課程を編成します ☆規範意識の醸成が図られる学校行事や教育活動を充実させます

中期取組目標 <input type="checkbox"/> 日々の学習活動へ主体的に取り組む姿勢を育て、達成感を持たせる ～興味を持てる授業の実践、形成的評価(次の目標が定まるよう支援) <input type="checkbox"/> 行事や係や委員会等、自ら取り組む姿勢を育て、充実感を持たせる ～生徒が活動の主体となるよう支援する <input type="checkbox"/> 集団生活の中で時間や約束を守り、美化意識を育て、良識・マナーのある生活をする姿勢を育てる ～教師自らが時間・約束を守り、美化等を心がける <input type="checkbox"/> 日常のふれあいを大切に、自分も仲間も大切に作る姿勢を育てる ～悩みを抱えた生徒・家庭へのアプローチ(生徒・家庭の思いや考えを十分に聞く対話の指導・家庭教育の向上)
--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 学習指導部	①「主体的・対話的な深い学び」を多く取り入れた授業を実践する。 ②学びを生かした経験を積み、工夫や学びを語れる生徒を育成する。 ③生涯にわたり学び続けようとする意思表示ができる生徒を育成する。
徳 豊かな心・情操 担当 学習指導部	①自己肯定感・自己有用感を持ち、自己実現に向け努力する生徒を育成する。 ②自他の人格を尊重し、違いを認め合い、感謝の心を持つ生徒を育成する。 ③礼儀や規律を重んじ、仲間や地域社会への貢献活動を実践する生徒を育成する。
体 健やかな体・食育 担当 保健指導部	①心身の健康を大切に、運動に親しむ習慣を身に付けさせるための手立てを教育課程に位置付ける。 ②食に関する知識や技能を持ち、日常生活に生かしていける生徒を育成する。 ③行政や地域・保護者と連携しながら、生涯にわたって健やかな体づくりができる策を模索する。
公開 生徒の自立 担当 生徒指導部	①教育相談・教科相談、保護者同伴面談など生徒個々の課題解決に向けた時間を大切にする。 ②自ら考えさせる機会を意識的に与え、自分で判断できるよう支援する。 ③将来の自己実現に向け、確実にその方向に変容しているかを確認しながら継続的支援を実施する。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①いじめ防止対策委員会を定期開催し、いじめの早期発見、早期解決に努める。 ②いじめ根絶に向けた学校風土づくりをし、組織的な対応で課題解決に取り組む。 ③重大な案件については、他機関と連携し、解決に取り組む。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部	①外部講師を積極的に活用し、校内研修を計画的に実施しながら教師力の向上を目指す。 ②業務内容の精選を図り、研修に参加できる時間に余裕のある職場づくりをする。 ③職員間の意見交換、情報交換を常にできる職場づくりをする。
人とのつながり 担当 教務部	①縦割り活動を活性化させ、上級生と下級生が、より深い人間関係を築けるよう支援する。 ②地域行事に積極的に参加させ、地域の人と深いつながりができるように支援する。 ③小中連携の教育活動において、小学生と中学生が関わることによって、互いに学び合うよう支援する。
特別支援教育 担当 特別支援教育推進委員会	①特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援を要する生徒の理解を深める。 ②特別支援に関する研修会を開き、特別支援に関する知識を深める。 ③一人ひとりのニーズに応じた個別の支援計画や個別の教育支援計画を作成し、活用する。
教育環境整備 担当 事務管理部	①落ち着いて学習できる教育環境作りをするために計画的に整備を行う。 ②GiGAスクール構想に向けて、ICT機器をはじめとした情報関連機器の計画的な整備を行う。 ③現在ある施設・設備の有効な活用を考え、実践する。
地域学校協働活動 担当 教務部	①学校運営協議会でいただいた意見を学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に励む。 ②学校と地域が「9年間で育てる子ども像」を共有し、子ども像の実現に向かって協力する。 ③地域のニーズを理解したうえで、地域行事に積極的に生徒を参加させる中で、生徒の人材育成を図る。